



町会連合会 の活動紹介

総務部
広報委員会

第一地区町会連合会は、地区の総合的なお知らせをつくるため、平成26年7月から第一地区地域だよりの製作を開始しました。毎月1回広報委員会を開き、掲載する内容について打ち合わせを行っています。製作にあたっての想いを町会連合会副会長(総務部担当)の土屋忠史さん(神明町)にお聞きしました。



委員会の様子

Q.製作するきっかけとなったのは

A. 町会連合会の活動をお知らせするものが無く、また公民館と福祉ひろばがお知らせをそれぞれ発行していたため地区に関係することなら一緒にできないかと考えました。

Q.どんな点に心がけていますか

A. みなさんに読んでいただけるような紙面づくりに心がけています。

Q.これからの方向性は

A. 必要な情報を漏れなくお伝えしていけるように地区内の団体のみなさんとの連携を深めていきたいと考えています。



公民館・ひろば講座欄紙面
統合第13号 平成27年8月号



初のA3版 第3号
平成26年10月号



平成27年11月1日現在
世帯数： 877戸(-1)
人口： 1609人(-4)
男： 783人(-2)
女： 826人(-2)

地域だよりの変遷

創刊 A4判 第1号
平成26年8月号



第一地区 行事あれこれ



「行事など情報をお寄せください。写真を掲載させていただきます。」

第一地区の 老舗をたずねて

第四十二回：
むさし(国府町)



昭和初期の店舗

松本駅開業から5年後の1907(明治40)年、駅の利用者を見込んで、松本出身の塚山つうと愛知県桑名市出身の幸七が、大衆食堂として松本駅の真ん前に開店。養女の君子と共に、賑わいを見せた松本駅利用者の胃袋を満たすべく、定食や丼物、麺類など、朝食から夕食まで提供した。

その後時代は戦争へと向かい、勤め人だった二代目の幸光は戦病死、配給制で物資の無い苦しい時代を、君子と、幸光の妻正子が主になり、3人の子どもを育てながら、従業員と共に頑張った。その後、正子と結婚した正一さんが2



昭和53年からの店舗

代目として店を再興した。戦争が終わり、昭和30年代初頭に現在の深志1丁目に移転。寿司、そば、天ぷらや和定食はもちろん、中華料理、オムライスやスパゲティなどの洋食まで、ありとあらゆるメニューを取りそろえた食のデパートとして営業。家族団らんの場として、「まちに行っておいしいごちそうを食べよう」という客で賑わった。店の裏手に旅館も併設し、3代



3代目 塚山 廣門 さん

目の廣門さん夫妻、現在国府町でむさし庵を経営する弟の肇さん夫妻、住み込みを含め10人以上の従業員がてんでこ舞いで働いた。

廣門さんの代になると、日本の高度経済成長と共に好景気に沸いた。廣門さんの妻で大おかみの登美子さんは、「年中無休で働いた。牛伏寺の2年参りの日はバスで移動するお客さんで夜通し満席。一杯

飲んでからお参りに行く人と、帰りに寄って行く人でごったがえしていた」と、当時を振り返る。

昭和53年、やまびこ国体を機に駅前の再開発が行われ、むさしも現在の場所に共同ビルを建設し現在に至っている。



「信州蕎麦ラウンジ くりや」

住所 松本市中央2-5-15
クリヴィーレ増田1階
電話 0263-35-8387
営業時間 17:00~24:00(L.O 23:20)
定休日 不定休
提供開始年 2013年



お店から.....

香り豊かな本格手打ち蕎麦。お洒落な店内で地酒と一緒に愉しめます。



おすすめ

つけ鴨そば
1,480円

第一地区
そば
かまぼこ
第7回

地区内のおそば情報お待ちしております
電話・FAX: 32-1550
E-mail: dai1-k@city.matsumoto.nagano.jp

人生いきていくには色々な要素が必要です。その中でも経済的な事が大きな要素となります。第一地区では自営業、不動産関連業等が多いと思われます。

年末をひかえ、その蓄えを狙っている不心得者が後を絶ちません。不審な電話を受けた方はほぼ全員と言っていい位かと思えます。

公的機関からは、払うにしても、払い戻し請求にしても、書類又は振込通知等で行われます。金を送れ、取りに行くは、全てサギと考えて良いと思います。最初の内はお金の事を言わず、警戒感が薄れたところでお金の話を持ち出す事が多々有ります。また必ず儲かると言う美味い話は、世の中に有りません。万が一有ったとしても、裏返しに、取り返しの付かない大きなリスク(危険)を抱えているもの

です。

今対策として、通話前に、「通話内容を録音します」というメッセージを流す機器を取付けるのが良いと言われていますが、家族間の合言葉を決めて置く、信頼関係の醸成が一番大切な事と考えます。

年末年始がその関係を作る絶好な時です。是非考えてみませんか。

電車通り